



平成29年度

仙台市の 主要事業

SENDAI CITY 2017



平成29年度予算のあらまし

一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算規模は1兆1,109億円で、前年度比199億円増加し、震災以降引き続き1兆円を超える高い水準となりました。

一般会計では、県費負担教職員権限移譲に伴う教職員の給与等の増などによる教育費の増加や、子ども・子育て支援関連経費の拡充等による健康福祉費の増加などにより、前年度比409億円増の5,476億円となりました。

また、特別会計は公債費の減少などにより101億円減少し、企業会計は下水道事業における復興事業の進捗に伴う工事費の減少などにより、109億円減少しました。

歳入 県費負担教職員権限移譲に伴い国庫支出金などが増加

市税収入は固定資産税の増加などにより、前年度に比べて20億円増加しました。また、県費負担教職員権限移譲に伴う給与等の財源として、新たに県民税所得割臨時交付金、分離課税所得割交付金が交付されるほか、国庫支出金、地方交付税等が増加しました。

歳出 義務的経費は増加、投資的経費は微減

【目的別の歳出】 少子高齢化の進展を背景として、子育て支援や障害者福祉など社会福祉に要する費用である健康福祉費は前年度比37億円増の1,932億円（35.3%）と最も大きな割合を占めました。次いで県費負担教職員権限移譲に伴う給与等の増などにより教育費が889億円（16.2%）、土木費が810億円（14.8%）となりました。

【性質別の歳出】 人件費、社会保障給付等の扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、県費負担教職員権限移譲に伴う給与等の増などを受けて、前年度に比べて487億円の増加となりました。

また、投資的経費は前年度と同程度の規模となりました。

将来にわたり人々をひきつけ、活力を持った都市づくりのための財政運営

本年度は、本市が重点的に取り組むべき政策の方針として平成27年12月に策定した「政策重点化方針2020」に基づく政策に予算を重点配分するとともに、復興に向けた継続的な課題への対応を図ったところです。また、税収の増加にもつながる地域経済の活性化、公共施設の長寿命化や計画的な更新を着実に進めるなど、中長期的な財政運営を見据えた取り組みのさらなる充実を図りました。

震災の経験を踏まえ、東北を力強く牽引する都市へと本市を発展させながら、確かな明日に向けた歩みを続けていくために、引き続き財政基盤の強化を図っていきます。

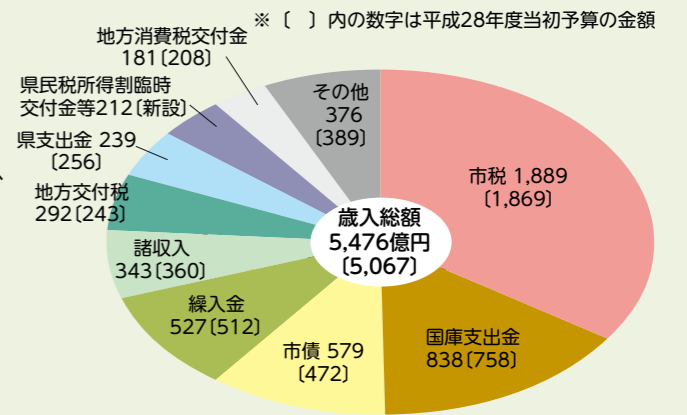
予算についてのお問い合わせは
財政企画課 ☎214・8111、FAX262・6709、
または市ホームページ [仙台市の財政](#)

- 一般会計**…特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理。行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計**…国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が保険料など特定の収入で原則賄われる会計
- 企業会計**…民間企業と同じように原則としてサービスの提供で収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。仙台市には下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院の各事業があります

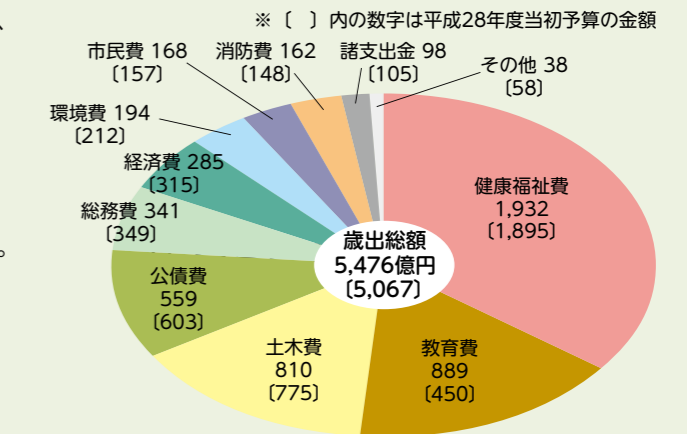
平成29年度の会計別の予算規模

	平成29年度（前年度比）
一般会計	5,476億円（409億円増加）
特別会計	3,213億円（101億円減少）
企業会計	2,420億円（109億円減少）
合計	1兆1,109億円（199億円増加）

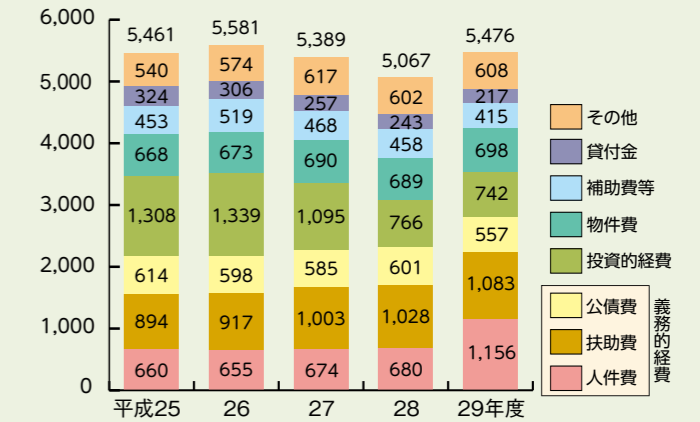
歳入内訳（一般会計）



【目的別】歳出内訳（一般会計）



【性質別】歳出額（一般会計）の推移



仙台らしさで挑む、 まちづくり推進の年



仙台市長
奥山 恵美子

全国的に少子高齢化が急速に進み、東北の人口が900万人を割り込む中、これからの本市に求められるのは、将来にわたって人々をひきつけ、活力を持った都市であり続けるための基盤づくりです。大震災の経験を踏まえ、海外にも通ずる独自のなまちづくりを進め、東北を力強く牽引する都市へと発展させていかなければなりません。折しも本年は、仙台藩祖・伊達政宗公の生誕450年にあたります。

政宗公は諸国から人材を招き、城下に新しい文化の風を吹き込むとともに、治水技術を高め四ツ谷用水に代表される上下水道システムを整備するなど、仙台のまちの原型を築かれました。知識や技術を外部から積極的に取り入れ、自らを変革する力へと変えていくしなやかさは、仙台に連綿と続く伝統であり、かけがえのない財産なのではないでしょうか。

震災の経験をまちづくりに取り込み、「防災環境都市」という新たな都市像を形作っていることや、

市民や起業家の方々が柔軟な発想で地域課題の解決を図る国家戦略特区の取り組みなども、仙台が持つ変革力の表れだと思えます。一方、私たちの身の回りには、何気なく見過ごされてきた可能性が数多く眠っています。こうした「地域」の潜在力に焦点を当て、行政が多様な主体のつなぎ手となって地域力を育てる仕組みづくりをスタートさせます。地域発の新しいまちづくりが重なり合うことで都市としての総合力が高まり、深みのある都市の魅力へとつながります。このような考えのもと、新年度を「仙台らしさで挑む、まちづくり推進の年」と位置付け、さまざまな施策を推進します。

都市個性を生かした交流都市づくり

仙台を代表する都心空間であり、文化的施設が連なる定禅寺通について、杜の都の風情を感じさせる、



道路空間の活用などにより、定禅寺通の活力とにぎわい創出を目指します

して、イタリヤの青少年とのスポーツ交流を行うほか、引き続き事前キャンプの誘致を進めます。

地域から発想する仙台型まちづくり

郊外住宅地や西部地区において、市民、地域団体、NPO、事業者の方々などと共に、人口減少や超高齢化社会の到来を見据えたまちづくりプロジェクトを進めます。

地域経済に関しては、広がりを見せるIT企業の立地を促進するとともに、起業家の成長に向けた集中的な支援プログラムの実践など、起業支援をさらに推進します。また、新たに開設する「中小企業活性化センター」を活用し、中小企業への支援を強化します。さらに、国際経験が豊かな人材の育成や学生の地元定着を促進するほか、農と食を連携させたビジネスや、農業の収益向上に向けた取り組みを積極的に後押ししていきます。

子育て支援については、10月から子ども医療費の通院助成の対象を中学3年生までに拡充するほか、放課後児童クラブの受け入れ枠の拡大など、子育て環境の充実化に取り組みます。いじめ問題については、小学校における専任教諭を増員するなど、早期発見、早期解決に向けた対策の充実を図ります。



11月に開催する「世界防災フォーラム」では、震災の教訓と防災・減災の取り組みを世界に発信します

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、本年度から開始する介護予防・日常生活支援総合事業を推進するとともに、地域における支え合いの体制づくりを進めます。また、障害および障害者への理解を促進するための普及啓発を引き続き行うとともに、障害者支援施設等の防犯対策を強化します。

防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり

東部沿岸地域の防災集団移転跡地について、市民や事業者の方々からの自由な発想や提案を取り入れながら、活気あふれる地となるよう検討を進めます。東六郷小学校跡地についても、地区の新たな交流拠点となるよう活用を図ります。かさ上げ道路等の整備や沿岸部の緑の再生・創出に向けた取り組みを着実に進めるとともに、被災された方々が再建先で安心して暮ら



復興公営住宅では、住民によるコミュニティーづくりが進んでいます

せるようコミュニティーづくりへの支援も継続します。

また、災害が発生した場合に迅速・適切に災害への対応行動を起こせる「防災人」の育成を進めるほか、津波の脅威を実感する震災遺構として保存・整備を進めてきた旧荒浜小学校を一般公開するとともに、市内中心部におけるメモリアル拠点施設の整備に向けた検討をさらに深めていきます。

環境に優しいまちづくりを推進するため、本市の多様な生物や自然、豊かな生態系への理解を深めるための機会を幅広く提供するほか、若者や地域の方々との協働により、一層のごみの減量や分別リサイクルを促進します。

市役所本庁舎については、老朽化に伴い建て替えが急務であることから、防災環境都市にふさわしい災害対応機能を備えた新庁舎の建設に向け、基本構想の策定に着手します。

先行きが見通しづらい時代環境ですが、これまでの仙台の伝統に加え、震災を経て私たちが身に付けた新たな力を武器に、市民の皆さまと行政が共に力を合わせて、一歩一歩確かな歩みを続け、仙台のまちが一層の輝きを放つよう、全力を尽くしていきます。

人とまちが輝く未来に向けて 新しいまちづくりを推進

本年度は、実施計画に掲げる「学びを多彩な活力につなげる都市づくり」「地域で支え合う心豊かな社会づくり」「自然と調和した持続可能な都市づくり」「人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり」の四つの重点政策と「復興まちづくり」を柱とし、各種事業に取り組みます。

※金額はいずれも1万円未満切り捨て

学びを多彩な活力につなげる都市づくり

文化・芸術の振興

市民の主体的な文化芸術活動への支援などを通じて、都市の個性と市民の創造性を生み出す文化・芸術の振興を図ります。また、楽都仙台ならではの文化拠点として、音楽ホールを整備検討を進めます。まちの魅力と人々の活気を引き出すアートプロジェクトや、多面的な学びの機会を創出するミュージアム連携事業に取り組みます。

教育環境の整備と学力育成

児童生徒の「確かな学力」を育成するため、市立小・中学校への計画的なタブレット端末整備を開

始し、教育の情報化を推進するほか、少人数学習等によるきめ細かな学習指導を行います。また、学校・家庭・地域が一体となった地域ぐるみの教育環境を創出するとともに、児童生徒の将来の社会的・職業的自立を目指し、自分づくり教育を推進します。

いじめ・不登校防止対策の推進

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用し、学校におけるいじめや不登校の未然防止や早期発見および迅速かつ適切な対応等を組織的に推進するとともに、命を大切にする自死予防教育の推進に取り組みます。

地域で支え合う心豊かな社会づくり

誰もが心豊かに暮らせる社会の実現に向けて

高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の実現に向け、介護予防の取り組みの充実を図る「介護予防・日常生活支援総合事業」を推進するとともに、地域における支え合いの体制づくりに取り組みます。

障害のある方の自立や地域生活を支援するため、就労支援や社会参加の促進などに取り組みほか、障害者支援施設等の防犯対策を強化します。また、障害理解促進のための啓発や相談体制の充実などにより、障害による差別解消を推進します。

すこやか子育てプランの推進

子どもを生き育てやすい環境づくりを推進するため、認可保育所

等の保育基盤や児童館等の整備を進めます。子育てに関する経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の通院助成の対象を、小学3年生までから中学3年生までに拡充します。また、生活困窮世帯の高校生の中退学を未然に防止するため、進級支援や面談等によるサポートを行うほか、各区の家庭相談員を増員するなど、子どもの貧困対策に取り組みます。

安全で安心な生活を支える防災・減災対策の推進

震災の教訓を踏まえ、防災意識の普及啓発を行うほか、自主防災活動の中心となる地域防災リーダーの養成・支援など、防災・減災への取り組みを推進します。また、民間建築物の耐震化を進めるほか、上下水道施設の耐震化や都市ガスの安定供給体制の向上など、緊急時のライフライン確保に向けた取り組みを推進し、災害に強いまちづくりを目指します。

※4～9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます

主要事業

- 文化振興 4億5825万円
- 音楽ホール整備検討 1647万円
- せんだい・アート・ノード・プロジェクト 3000万円
- ミュージアム連携 361万円
- 八木山動物公園整備 1億8632万円
- 学都推進 608万円
- 確かな学力育成 9億9290万円
- 仙台自分づくり教育推進 6012万円
- 放課後子ども教室推進 3493万円
- いじめ・不登校防止対策推進 2億2513万円
- 学校教育施設整備 47億5804万円
- 南東北インターハイ開催 4815万円
- 県費負担教職員権限移譲 480億6727万円
- 学校支援地域本部事業推進 4245万円
- 文化財史跡整備推進 6636万円

主要事業

- 生活困窮者への自立支援 3億7653万円
- 介護予防・日常生活支援総合事業 23億5217万円
- 高齢者保健福祉の推進 45億8357万円
- 障害者施設整備 1億8275万円
- 障害者保健福祉の推進 228億2837万円
- 障害者差別解消 678万円
- 男女共同参画の総合的推進 6億4409万円
- すこやか子育てプラン推進 612億370万円
- 子ども医療費助成 33億9859万円
- 子どもの貧困対策 1億15万円
- 防災・減災対策の推進 2億5918万円
- 仙台版防災教育推進 589万円
- 民間建築物耐震化等促進 3億7241万円
- 救急体制整備 3億7149万円
- 地域安全対策 6745万円
- 市営住宅建設等 25億3861万円



地域ごとに「地域版避難所運営マニュアル」を定め、避難所開設や備蓄物資の取り扱いなどの訓練を行っています



認可保育所等の整備により、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます



高齢の方が、住み慣れた地域で充実感を持って暮らせるよう、介護予防の取り組みを進めます



八木山動物公園では、園内に整備を進めている（仮称）ふれあい動物園を7月に供用開始し、さらなる魅力向上を図ります



仙台子ども体験プラザでは、小・中学校の児童生徒が、仕事や家計・生活設計等の体験を通じて社会や経済の仕組みを学びます



博物館や仙台文学館など、さまざまな施設が連携してイベントを開催する「仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）」

自然と調和した持続可能な都市づくり

持続可能な都市づくりの推進

市民全体で省エネ・創エネ・蓄エネに取り組む「せんだいE-Energy Action」の推進やLED照明の導入など、環境負荷の小さい低炭素型の都市づくりを進めます。

また、市民・事業者との協働によりごみ減量・リサイクルを推進する「WAKE UP!!仙台」キャンペーンを引き続き実施するほか、事業ごみの適正排出と減量・リサイクル推進に向けて、清掃工場に搬入されたごみを展開検査するための装置を導入するなど、事業者への指導啓発を強化します。

さらに、市街地のみどりの保全や創出などに市民協働で取り組む「百年の杜づくり」を推進します。
利便性が高く、文化的で魅力ある市街地の形成

仙台駅とその周辺について、広域観光の促進に向けた受け入れ環境整備や観光の拠点にふさわしい交通結節機能の強化など、国内外からの来訪者が利用しやすい交通環境整備に向けた検討を行います。

また、定禅寺通とその周辺の活性化に向けて、道路空間の利活用やエリアマネジメント（※1）の導入などの検討を行います。

さらに、市内中心部において、民間の遊休不動産や道路・公園等の公共空間の利活用により、新たなぎわいの創出や魅力ある都市空間の形成を図るなど、公民連携によるまちづくりを推進します。

堅実な都市基盤の構築に向けて

「みんなにやさしい自転車利用環境づくり」を目指し、自転車利用者へのルール順守・マナー向上を図るとともに、自転車が通行する部分を示す自転車マークと進行方向を示す矢印を路面に設置するなど、安全・安心な自転車利用環境の実現を図ります。

また、公共交通を中心とした交通体系を構築するとともに、都市活動を支える道路網の形成を図るため、都市計画道路の整備を進めます。

このほか、市民の安全・安心な暮らしを守る道路や橋りょうの整備、維持・補修等を行います。

人をひきつけ躍動する

仙台の魅力と活力づくり

東西線沿線のにぎわいとまちづくりの推進

東西線に関わる多様な主体が連携し、東西線沿線のにぎわい創出や魅力向上を図る取り組みを進め、交流人口の拡大と東西線の利用促進を目指します。また、民間活力を生かした沿線のまちづくりを推進し、利便性と快適性の高い市街地の形成を図ります。

地元経済の発展を支える産業の活性化と農業振興

「日本一起業しやすいまち」の実現に向け、起業相談や各種セミナーなどの起業支援を行うほか、成長が見込まれる事業への集中的な支援を実施します。また、市内で起業や就職を希望する学生の海外留学支援制度を設けるなど、国際経験豊かな人材の育成や、中小企業の人材確保・育成に向けた取り組みを推進します。

さらに、IT関連中小企業の海外展開支援などにより、IT産業の国際連携を促進するほか、地場産農産物の高付加価値化や地産地

消の推進により、地域産業の活性化を図ります。

文化・スポーツ・観光分野の連携による交流人口の拡大

伊達政宗公生誕450年を記念して、博物館で特別展を開催するほか、伊達文化を切り口とした観光プロモーションを行います。外国人観光客の増加に向け、ターゲットとなる国やニーズに応じて仙台・東北の魅力の確に発信するとともに、受け入れ環境の充実に努めます。11月に開催する「世界防災フォーラム」を成功させるとともに、国際会議等の誘致に取り組み、コンベンション都市としての地位の確立につなげます。

東北六魂祭の後継となる「東北絆まつり」の開催や復興ツーリズム（※2）の推進などにより、東北の各都市や関係機関との連携を強化します。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、イタリアの青少年とのスポーツ交流を行うなど、スポーツを契機とした交流人口の拡大を目指します。

主要事業

- 低炭素都市づくり等推進 7億403万円
- LED照明の導入推進 5億6216万円
- ごみ減量・リサイクル推進 38億8809万円
- 事業者との協働による事業ごみの減量・リサイクル 2億624万円
- 生物多様性保全推進 362万円
- 百年の杜づくり推進 5億9061万円
- 機能集約型市街地の形成と良好な郊外居住地域づくり 31億2584万円
- 仙台駅西口駅前広場再整備 3億7200万円
- 定禅寺通活性化推進 3000万円
- ストック活用型都市再生推進 1554万円
- 公共交通活性化等推進 32億7317万円
- 杜の都の自転車プラン推進 8億6632万円
- 杜の都の風土を育む景観形成推進 2350万円
- 都市計画街路整備 46億9382万円
- 道路新設改良 240億2332万円
- 橋りょう整備 28億3843万円

主要事業

- 東西線沿線にぎわい・まちづくり推進 6億3496万円
- 中小企業経営基盤強化 6億5614万円
- 起業支援 1億261万円
- 中小企業人材確保・育成 6234万円
- 産学連携推進 4916万円
- IT産業国際連携促進 2513万円
- 国際経済交流 2157万円
- 政宗公生誕450年関連事業 6239万円
- 観光振興 9億5861万円
- インバウンド推進 2億1857万円
- コンベンション誘致 1億2500万円
- 東北連携推進 4億4484万円
- 仙山連携推進 2270万円
- 農食ビジネス推進 6807万円
- 国際姉妹都市等との交流 3114万円
- スポーツ推進 9億1396万円



平成23年7月に始まり、昨年で東北6市を一巡した「東北六魂祭」。今年から後継イベントとして「東北絆まつり」が始まります



仙台起業家週間「SENDAI Entrepreneur Week」では、起業に関するさまざまなイベントを集中的に開催します



東西線沿線の陸奥国分寺薬師堂の境内では、毎月8日に「お薬師さんの手づくり市」が開催され、多くの人でにぎわいます



市道宮町通線の自転車専用通行帯。自転車の左側走行を促進し、安全・安心な自転車利用環境の整備に努めます



仙台駅西口バスプールの拡張工事等により、東北の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化を図ります



地域の皆さんと市職員が協働し、家庭ごみの排出状況を確認しながら、ごみの分別と減量を呼び掛けます

復興まちづくり

1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み

被災された方々の意向や課題に応じて、暮らしや健康に関する相談・支援を引き続き実施するほか、町内会をはじめとする地域団体等の復興まちづくり活動を促進するため、交流活動等への支援を行います。

また、平成28年度末に閉校した東六郷小学校の跡地について、地域コミュニティの拠点として利活用を図るとともに、東部沿岸地域の防災集団移転跡地について、土地の利活用を希望する事業者を公募します。

このほか、仙台港周辺地区の産業の復興支援や、農地の大区画化等により、経済・農業の復興に向けた取り組みを推進するとともに、海岸公園の再整備や海辺のふるりづくりの支援を行います。

2 安全・安心確保の取り組み

東部復興道路や津波避難道路の整備等により、津波から命を守る

多重的な減災対策を推進します。

また、避難所等の災害用資機材や備蓄等を充実させるなど、防災体制の強化を図るとともに、市民一人一人の防災意識を高め、自助・共助を促進する普及啓発活動や、ハザードマップの作成、地域防災リーダーの養成・支援などにより、「防災人」の育成を進めます。

3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み

防災に関わる市民団体等の交流と発信の場として「仙台防災未来フォーラム」を開催するなど、防災環境都市づくりを推進します。

震災の記憶と経験を未来や世界に発信するため、沿岸部拠点である「せんだい3・11メモリアル交流館」を運営するとともに、市中心部の拠点施設の整備に向けた検討を進めます。また、津波の脅威や地域の記憶を後世に伝えるため、旧荒浜小学校を震災遺構として一般公開するなど、震災復興メモリアル事業を進めます。

未来に責任を持つ都市経営

市民力の拡大と新しい市民協働による地域づくりの推進

市民が主体的に地域や社会のために力を発揮できる環境づくりに向けて、拠点施設である市民活動サポートセンターの機能を強化し、多様な主体の強みを生かした協働によるまちづくりを推進します。

また、市民の暮らしの基盤である地域の特性や課題を踏まえながら、市民協働による地域づくりを推進する「ふるさと底力向上プロジェクト」を実施するほか、郊外住宅地・西部地区振興のため、地域が自発的に取り組む事業に対する補助制度を新設します。このほか、地域の学び・交流の拠点である市民センターにおいて、地域づくり支援を行います。

確かな未来をつくる都市経営のために

公共施設を将来にわたり安心して利用できる環境を整えるため、

主要事業

1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み

被災者生活再建支援 1億501万円
被災者の健康支援 2888万円
復興まちづくりに向けた町内会等支援 596万円

●東部市街地排水施設整備

14億4444万円

●津波被災地域住宅再建支援

4億4305万円

●仙台港周辺地区復興支援

5747万円

●被災者の雇用促進

2億5903万円

●農業生産基盤整備

3億970万円

●海岸公園再整備

2億696万円

●六郷東部地区現地再建まちづくり

2650万円

●東部地域移転跡地利活用推進

1億5333万円

●蒲生北部地区復興再整備

54億1968万円

2 安全・安心確保の取り組み

158億2546万円

●東部復興道路整備

125億9996万円

●津波避難道路整備

13億2919万円

●避難所等防災体制の充実強化

1億3735万円

●「防災人」づくり

4445万円

3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み

2億312万円

●防災環境都市づくり推進

6384万円

●震災復興メモリアル事業

1億3601万円

主要事業

未来をつくる市民力の拡大と新しい市民協働の推進

2億4441万円

●市民協働による地域づくりの推進

1億9921万円

●郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト推進

5092万円

●ふるさと底力向上プロジェクト

3536万円

●市民センターによる地域づくり支援

2363万円

●地域施設整備

21億5848万円

●公共施設等マネジメントの推進

134億789万円

●道路施設等長寿命化修繕

34億1916万円

●市税等の収納率向上対策

1億1578万円

●市役所本庁舎建替

1747万円

●総合計画の推進

2796万円

●人材育成機能・組織力の強化

3471万円

●業務改善

1300万円

●コンプライアンス推進

251万円



NPO等に職員を派遣し、体験を通して市民協働に関する理解を深める研修を行うなど、職員の協働力向上を図ります



昭和40年に完成した市役所本庁舎の建て替えに向けた検討を進めます



市民活動や協働によるまちづくり推進のための拠点施設である市民活動サポートセンター



震災の経験や教訓について、市民が思いを共有し、意見を交わすための場となる仙台防災未来フォーラム



津波からの防御機能を高めるため、東部復興道路のかさ上げ工事を進めています



東六郷小学校の跡地に、地域の歴史継承・鎮魂のためのモニュメントと慰霊碑を整備します

各区内の主要事業

青葉区

区民協働まちづくり事業
 区民の皆さんや地域団体などとの協働によりまちづくりを進めます。「青葉区民まつり」、「宮城地区まつり」、「子どもから高齢者まで世代を超えた参加者による「絆づくり田んぼアート」」など各種事業を企画・開催するほか、公募によるまちづくり活動への助成を行います。

また、マンション居住者の町内会加入の促進に向けた取り組みを進めます。



▲ステージ発表や体験コーナーなど、区民主体の手づくりによる「青葉区民まつり」



▼「絆づくり田んぼアート」政宗公と愛姫（愛子地区）

ふるさと底力向上プロジェクト
 市民力を生かした地域活性化に取り組みます。荒巻地区をモ

- **学校教育施設整備**
 錦ヶ丘中学校の校舎等新築、荒巻小学校および桜丘中学校の校舎整備等を行います。
- **（仮称）東一番丁マイスクール児童館設計**
 大沢市民センター大規模修繕設計
- **八幡コミュニティ・センターおよび台原コミュニティ・センター大規模修繕**
- **特別養護老人ホーム建設費補助（第二中学校区・広瀬中学校区）**
- **仙台駅西口駅前広場再整備**
- **定禅寺通活性化推進**
 定禅寺通とその周辺の活性化に向けた調査・検討等を行います。
- **青葉通再整備**
- **道路整備**
 茶屋町山屋敷線、青葉山線等の整備を行います。
- **橋りょう整備**
 新鳴合橋の整備、長町堤町線歩道橋等の補修工事を行います。
- **公園整備**
 青葉山公園、西公園、中山台西公園等の整備を行います。

宮城野区

区民協働まちづくり事業
 区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、「みやぎのまつり」など、各種イベントを企画・開催します。また、子育て、防災、地域の魅力発信など幅広い分野での取り組みを行うとともに、公募によるまちづくり活動への助成を行います。



「みやぎのまつり」では、子どもから大人まで楽しめるイベントが催されます

ふるさと底力向上プロジェクト

これからの郊外団地が、高齢者も暮らしやすく、さまざまな世代の居住を促進するまちへと再生していくことを目指し、鶴ヶ谷地区の地域力向上を図るモデル事業を実施します。

海辺のふるさとづくり支援
 津波被災地域において町内会等が行うコミュニティ再生や地域活性化のための活動を支援するほか、「みんなの家」を住民主体の交流施設として活用します。



新浜町内会が開催した宮城野区沿岸部の自然や歴史に触れる学習会

- **被災者交流支援事業**
 復興公営住宅入居者のコミュニティ運営への支援を行うほか、地域団体等が行う被災者交流活動に対して助成を行います。
- **蒲生北部地区復興再整備**
 蒲生北部地区において、土地区画整理事業等を実施します。
- **特別養護老人ホーム建設費補助（鶴谷中学校区・西山中学校区）**
- **東仙台コミュニティ・センター大規模修繕設計**
- **市営住宅建設**
 鶴ヶ谷第一市営住宅団地の再整備を進めます。
- **下水道浸水対策**
 鶴巻ポンプ場等の整備を行います。
- **道路整備**
 東部復興道路のほか、元寺小路福室線（宮城野橋工区）、中野栄線等の整備を行います。
- **橋りょう整備**
 安行寺橋整備設計や、宮城野大橋等の補修工事を行います。
- **公園整備**
 海岸公園、榴岡公園、高砂中央公園等の整備を行います。

若林区

区民協働まちづくり事業
 魅力ある若林区を目指し、「若林区民ふるさとまつり」、「合唱のつどい」を企画・開催するほか、六・七郷堀の魅力発信などを区民協働で行います。また、市民団体が実施するまちづくり活動への助成を行います。

ふるさと底力向上プロジェクト

六郷東部地区現地再建まちづくり支援として、東六郷小学校跡地や東六郷コミュニティ・センターを核とした交流促進に取り組みとともに、地域において健康で安心して暮らし続けられるよう支援を行います。



4月にリニューアルオープンした東六郷コミュニティ・センター

地域コミュニティ運営等支援
 防災集団移転先や復興公営住宅での地域コミュニティ運営や交流活動への支援を行います。

■ **若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業**
 若林区中央市民センター別棟の建て替えに合わせた周辺整備

- **陸奥国分寺跡等整備事業**
- **学校教育施設整備**
 （仮称）七郷第二小学校新築設計等を行います。
- **（仮称）七郷第二児童館建設実施設計**
- **若林区中央市民センター（別棟）改築等**
 平成29年秋の開館に向け、若林区中央市民センター別棟と児童館、「子育てふれあいプラザ若林」の整備を行います。
- **大和コミュニティ・センター大規模修繕および南材コミュニティ・センター大規模修繕設計**
- **道路整備**
 東部復興道路のほか、卸町大和町（その2）線外2線等の整備を行います。
- **公園整備**
 海岸公園、荒井東1号公園等の整備を行います。

太白区

区民協働まちづくり事業
 「太白区民まつり」や小学生に体験学習の場を提供する事業、区内の自然・歴史を探究する事業などを企画・開催します。

また、公募によるまちづくり活動への助成を行うほか、まちづくり活動に取り組む団体への支援の充実にも努めます。



「太白区民まつり」のステージ発表

ふるさと底力向上プロジェクト

生出・坪沼地区の活性化支援を引き続き行うほか、秋保地区で新たな体験型観光の創出を図るなど、西部中山間地の活性化と地域力の向上に努めます。



野尻集会所で行われたそば打ち体験

- **被災者交流支援事業**
 地域団体等が行う被災者交流活動に対して、公募による助成を行います。
- **学校教育施設整備**
 上野山小学校のプール改築や、大野田小学校の校舎増築設計等を行います。
- **西多賀児童館改築**
- **市民センター整備**
 西多賀市民センターの改築、馬場市民センターおよび山田市民センターの大規模修繕、茂庭台市民センターの大規模修繕設計等を行います。
- **上野山コミュニティ・センター大規模修繕および向山コミュニティ・センター大規模修繕設計**
- **特別養護老人ホーム建設費補助（八木山中学校区・茂庭台中学校区）**
- **下水道浸水対策**
 四郎丸地区の浸水対策を行います。
- **道路整備**
 郡山折立線（大野田・鉤取）、緑ヶ丘一丁目1号線、館国久線等の整備、赤石樽道線、仙台山寺線等の防災対策を進めます。
- **橋りょう整備**
 熊野宮橋の整備や、境橋、鈴欄橋等の補修工事を行います。
- **公園整備**
 富沢駅東2号公園等の整備を行います。
- **八木山動物公園整備**

泉区

区民協働まちづくり事業
 区民の皆さんと協働でまちづくりを進めるため、世代間交流の促進やふるさと意識を育てる「泉区民ふるさとまつり」、「七北田川クリーン運動」、「いずみ花火大会」等を行います。

また、地域と大学が連携して地域課題の解決を図っていく「いずみ絆プロジェクト支援事業」や「大学連携地域づくり事業」を行うほか、地域の特色を生かし、区民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動への助成を行います。



▲花火大会など、大勢の人でにぎわう夏の風物詩「泉区民ふるさとまつり」



▼七北田川の清流を守る活動として実施している「七北田川クリーン運動」

- **ふるさと底力向上プロジェクト**
 さまざまな地域から人が集まり、交流できる拠点となるよう、泉中央地区の活性化に向けた取り組みを行うほか、泉西部地区の豊かな自然資源と、そのもとで育まれた歴史や文化を体験する各種プログラムを実施し、魅力あるまちづくりと地域の活性化を図ります。
- **泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕設計**
- **特別養護老人ホーム建設費補助（加茂中学校区・南光台東中学校区・住吉台中学校区）**
- **道路整備**
 宮沢根白石線外1線（浦田）の整備、南前町線等の歩道整備、杉ノ崎蒜但木線等の道路防災対策を行います。
- **橋りょう整備**
 古屋敷橋の整備、向原歩道橋等の補修工事を行います。
- **公園整備**
 泉中央公園等の整備を行います。



伝承踊り等のステージイベント、農産物や特産品の展示・物販コーナーでにぎわう「泉かむり」の里伝承物語